

再会ご奉仕ックス
収録台本

キャラクター：サラ

ファイル：p01

■パート1：お風呂	
SE	激しい雨・風 ループ
SE	玄関を乱暴に開ける音
SE	駆け込む足音
SE	扉閉める音
SE	雨・風ループ停止
(駆け足で帰ってきたため、呼吸を整える)	

「ふーー…………かー、ひーしやびーしゃになつひやつた。」
おせー、ひじかうー

卷之二十一

サラ

sara_p01_003
「あーあ。せつかく、久しぶりに会うんだから、いつ
ちばん綺麗なサラを、お兄ちゃんに見せたかった
なー」

「んでんでっ、お兄ちゃんと一、バス停からの帰り道を一、一緒にのんびり歩きたかったのに……」

「ねね、お兄ちゃん、憶えてる？　あっちに行つ
ちやつたあの日の」。ナリが、お見送りした時の
「」

「サラね、お兄ちゃんの前で泣きたくなかったから、頑張って我慢したんだよ?」

「でもあの後、やいぱり泣いた……」
sarap01_007

「さー、帰り道ひとりで、寂しかったんだもん…
…」

sara_p01_009

「サラ、もう一人なんだつて思つたら…………へしゃ
ん…」

sara_p01_010

「（鼻をすする音）うー、『おん、お兄ちゃん。えへ
く、ぬれたまおじや風邪引っちゃうね…』」

sara_p01_011

「うそ？ ジヤあれ、一緒にお風呂入る？ せひ、
昔、よく一緒に入ったよね？」

sara_p01_012

「え？ あれはカーフがもつぶ、かわやかつたから。
えくく、ジヤあ、だいじゅふ」

sara_p01_013

「だつて、カーフ、今もかわやじゅふーっ！」

sara_p01_014

「（耳打ちする）…………それにね、今、おつかにだーれ
もじないんだ」

sara_p01_015

「迷いや迷やつたり、誰か帰つてしまわやう…。
…」

sara_p01_016

「ふふふ、お風呂一緒に入つてくれる？ ありがと
うー、お兄ちゃん、だーい好め～」

風呂場に移動

脱衣の衣擦れの音

sara_p01_017
「えぐく、いじね處へや、お尻わやく、や！」
座つて、お背中ながしてあげる！」

sara_p01_018
「ん？ ピーしたの？ 一人で入りなやう、ひ……
一緒に入りたくないの？」

sara_p01_019
「恒」への御ご行ひて、ナリシル……嫌いに、
なつわやつた……。」

sara_p01_020
「あははは……慌てわやつて、おむしるーご。ンゲー
だんだよー。……でも、一人は寂しいなー」

sara_p01_021
「せいかくお尻わやく、また余えたんだもん……サ
ラ、もひとお尻わやくと一緒にいたいな？」

sara_p01_022
「それ……濡れたままジーと待つてたらしく、
ほんとに風邪引いかやつよ。」

sara_p01_023
「だから。ねい。一緒に入りなよ」

sara_p01_024
「ふふ、じゃあ、まわせお處どぞませーーーあるね……
よこしゅ」

sara_p01_025
「えーね。熱くなー。やべ、よかつたあー」

sara_p01_026
「じゅ、次はスponジド”シロ”かね」

sara_p01_027
「えーじゃ、お仕事、お仕事……”シロ””シロ”」

sara_p01_028
「ん~、おひねな顔中一。べくく、かゑじるわ、あ
うせせんかー。」

sara_p01_029
「わー、わー、わー……おせせ、お尻わやんの顔
中、週ーー」

sara_p01_030
「わー、」の声中をドードー週りかかれたんだね」

sara_p01_031
「だから、お尻わやんがいなくなつちやつたわ、す
い」へ寂しかったあ……」

sara_p01_032
「わー、と。綺麗になつたかな。 ジやあ、またね湯
ドサバーッとするね……よーしー」とおー
「ほー、綺麗になつたわ、 ジやあ今度は前ねー
えー、 前はいい。 よーいどー、 ほーほー、 遠慮
しなーー」

sara_p01_034
「ほー、わー、お尻わやん……手で隠れなごーー」

sara_p01_035
「お顔もー、なーんどうわのせいつ見なーー」といふ
のーー」

sara_p01_036
「えー、わーの裸が見えちやつたわ、 そー、
そつかーー」

sara_p01_037
「えくく、こー、わーの裸、見ても。 ちよーいと餘
ずかしいナビ」

サラ

sara_p01_038
「や、お兄ちゃんになら、見られて、こころ…」

sara_p01_039
「んわー、うわむじゅうぜー。おんなのーが、
「へんなに頑張つてんだだよー？」

sara_p01_040
「ん・れ・にー、だいじょぶだよー。壁ねんど
も、ちやーんと冠つてんだから」

sara_p01_041
「(咲乃)…………おかえりな、なんじ
しゅ~」

sara_p01_042
「あはは、ヒシクコトハズー。せ、おれどもナ
ド。うそ、此ごト此ごト」

sara_p01_043
「お兄ちゃんはいきなあさん、キソイキソイ、
しょひね~」

sara_p01_044
「くく、観念した。みーる。はあ……す、一
じ、ねりーな」

sara_p01_045
「むかし一緒に入ったときさ、「んなじやなかつたの
に、ふしきー」

sara_p01_046
「うーん、うーん、ま、うーん
だよね~」

sara_p01_047
「(小声で) サラで、うーんしたんだー。くく、嬉
しいな……」

サラ

「ふふふ、かわいい、かわいい、かわいいね、

ナリ。アーティスト、歌手、俳優、タレント等の多方面で活躍するSara。

えないよ……？ サラに、まかせて」

「さあ、やがて。『ふふ、ヤシケン』マルマル
ド、ハピ、ハピ……、ハピハピ……」

「え? そんなに触られたらいやばい? 強かつた?
お兄ちゃん、優しく触られる方が好きなんだー?」

sara_p01_053

- 1 -

「えー、お兄ちゃん、気持ちはいい。でも、先つ
sara_p01_055

「……ひよ、ぶくぶく、隕りんてる……」

「え？ キトー？ うん、知ってるよ。亀さんの頭つ
て書くんだよね？ スベスベしてて、かわいいー」

sar_a_p01_056

- 1 -

「ん、う……うん、やっぱこいつはやつたかな？」

度お湯で流しちゃおつか」

sara_p01_059
「ハーハ、モウゼーんーハ、おー、ミシカミカになつ

たねえへへ」

sara_p01_060
「あれあれー。 もうあんなのじゃーくなつたね、

二二

sara_p01_061
「西北、見てえ……すじがブクーツ、膨らむ

カニシヤ

sara_p01_062
「ねえんちんつで、す」いね。カチカチで、ヒクヒク

う

sara_p01_064
ገኘጭ በኘጭ ተብርሃኝዎች፣ ወካፊል

sara_p01_065
「え、ねちなんちんのトントンちやダメ? ルーレー。
ふらじやない。ね・ち・ん・ち・ん」

「あ、今丘さんでした。ひょいとこで
が言つたから、」——ふんしてゐるの。」

sara_p01_067
「ふうん。じゃーあ、話しかみよいか」

sara_p01_068

クビクしたらすぐ分かるんだから。ふふ、それ
じゃ、『詫』つよ……」

「ねむるねむる、ねむるねむる、ちくに……ねむるねむる……
せいか、今、ドクンシテ動いたよ。」

sara_p01_071
「…………ちんまり、ちんまり、おなかがすく…………」

sara_p01_072

sara_p01_074
「ふわ~、今『イクシ』じゃね.. ちがい!」

サラ

sara_p01_076
「……実はね、ナリ、お兄ちゃんの持つてた、えっちなマンガで、じーっと見つめましたんだー」

サラ

sara_p01_077
「だつて、お端座にたーべれと聞かへばなしてあつたもー。」

サラ

sara_p01_078
「あはは、みんなに惚てないで。だいじょぶ、誰にもないしょだから。ナリとおしゃべりするのよ・。」

ジ

sara_p01_079
「マンガだと、」「いやつ、シロシロしたから、田舎おじいがじまーつて田舎、イケーハ、」「うひーたみー。」

sara_p01_080
「ふふ、ちんぽ三ツクつて言つてんだけねー。」

サラ

sara_p01_081
「えぐく、せんとせ、せーえき、どしょー。でも、サラは、ちんぽ三ツクつて言つた方が、かわいくつて好きかなー。」

サラ

sara_p01_082
「お兄ちゃんは、精液の方がこじら、それともせーしぃ、」だねじる、ドロドロせーだくザーメンの方がいいのかなー。」

サラ

sara_p01_083
「うるさい、せいかがり、ひかわく、」「うう……」

サラ

sara_p01_084
「ねえねえ、気持ちいいの。そぞとも、サラに興奮してるの。」

sara_p01_085
「ひぐるんだよね。 だつてわいかり、 皿をわら
してるふうしてー」

sara_p01_086
「チラチラしてたのせだが、 見てるもんね」

sara_p01_087
「モー、 ここのトマトのレ。 ね、 せいか、 たぐれ
ん見て……」

sara_p01_088
「えいへ。 カリのかりだ。 エヒ。 キノイ。 エヘ
く、 あっがとひく」

sara_p01_089
「お祝い、 もうひと皿持あこじる、 してあるナメー
か?」

sara_p01_090
「んへ。 ふふふ、 例えばー。 カリの、 おクチで、 お
ちんぽを……しゃべり、 とか?」

sara_p01_091
「あへー。 お兄ちゃん、 今、 すいじい興奮したで
しょ。 おちんぽ、 ビクビクしてた」

sara_p01_092
「うふふ、 正直なんだからあ……♪」

sara_p01_093
「サラのちーちやなおクチで、 お兄ちゃんの爆発寸前
のガチガチおちんぽを、 はむんッ……」

sara_p01_094
「そのまましゃぶつて、 根本まくわせ! で、
ンググつてなるのを我慢してー……」

サラ

「アーニング、嬉しいんだよね。」
sara_p01_095

sara_p01_095

「ふふ、そのままでいいんだねちんぽを、

「……ソロソロレロレロ」

「中に溢れた涎をとろおり、ねつとり絡みつかせて…

1

sara_p01_098
「それじゃ、おまえが、どうやってね……ねばねば」

「さーしたの。ナウの目標は、また一歩近づいた……」

sara_p01_100
「ね、ホントかやおつか……？」
「…………」

sara_p01_101
「勉強したもん…………お兄ちゃんに喜んでやるね」

「(耳打ち) 今なり……誰にもわからぬよ。」
sara_pul_102

「サラと、お兄ちゃんとの、大事な大事な内緒の……」

۱۷۰

サウス・カロライナ州議会議事録
1860年1月2日

sara_p01_105
「ナラのおクチド、じゅうまじゅうま、れろれり、して欲
レバレバ」

サラ

sara_p01_106
「うん… いい、ナリ、アイスでしか練飴した」
となじさど、頑張るね~」

サラ

sara_p01_107
「じゃーす」出来なかつた~、「おんね? えへへ…
…じゃあ、するね……はむそ~」

以トちゅぱ音なのド、口に咥えてる体で発音をお願いします。

sara_p01_108
「んちゅ、ちゅ、んちゅ~」、「ひ~、ま~ば、先つ
わよ」チューするといひか~、だよね」

sara_p01_109
「ひちゅ、んちゅ、ちゅ~、んちゅ~」

sara_p01_110
「ちゅ、んちゅ、れろ、れろれろ~」、「ん~、ふ~、変
な味……ふ~ん、おちんぽつて」、「んな味なんだね」

sara_p01_111
「べ~、嫌な味つてわけじゃないよ。れろ、ねるねる
……ちゅりと想像と違つただけ、じゅる、ちゅ」

sara_p01_112
「マンガで、『美味しぃ』ってあつたからどんな味か
なーって……ねるん、んちゅ、ぴちやん……」

sara_p01_113
「ちゅ、」の味、ちゅりと好きかも……ねるん、ぴ
ちゅ~」

sara_p01_114
「んちゅねる……だつて、お兄ちゃんの味と比べがす
るんだもん……」

sara_p01_115
「ふふ、洗ったの?」...「んなに匂いがする...」。

ろ、れろれろ……」

ナリ
sara_p01_116
「ええ、され……結構、忙びいじでねえやうな気が……」

「んん、はあ……ああ、和がハ」「つかやハよお……ちゅう、じゅう」「

「んふふ、お兄ちゃん嬉しぃ……顔がにじみ出して

sara_p01_117
「んふふ、お兄ちゃん嬉しそう……顔がこじりこじるよ。はむ、ねろ……」「

sara_p01_118
「えへへ……れる、れる……その顔、もうお喜びな

ナリ
sara_p01_119
「ふせああむ……ふわせ、ひなび、じせん、れいれい
……ひなびて……せぬ、せぬ……ああ、す」「——」

「お兄ちゃんのところ、おクチと鼻の中もハゼでこなす
わやつたあ…………せぬ、ふい…………ごくこ…………すれ……
…」

sara_p01_121
「えぬ、やう、やうやう、れぬ、わぬわぬ、れ
ぬぬぬ、わぬぬ」

sara_p01_122
「(口離す)…………おせああ…………美味い…………」

sara_p01_124
「（云隣）やがてわが心懸る（わが心懸の巷、お
クサの中へせこになつて）」

sara_p01_125
「ぐわを、おうさん、れひれひ、わるねる……」

sara_p01_126
「せあ、ああん、先づかみで、壁が詰まつたよお
……ねわを、わるねる、わるねる……」

sara_p01_127
「え、えぐい、ぐせ、じゅうい……ごべい、
せり、ハグい……」

sara_p01_128
「（口を開く）うい、うそくわざ、わざの感觸もど
ねはぬも感觸もやつた……」

sara_p01_129
「せあ、うい……おさせ、見て見て、おちくせ、涎
だだロダロ……うい、あいじゅうシキ……」

sara_p01_130
「ねだねだ、続かうこう、うい、早くお咲わやく
をつかせだくなつわやつた……うん、はあ一む」

sara_p01_131
「（云隣）やがてわが心懸る（わが心懸の巷、お
ほ、わが心懸の巷、わが心懸の巷）」

sara_p01_132
「ねだねだをねだる、うい、うい、うい、
と、帳持わざこくやどしゃ」

sara_p01_133
「じをれ、おれおれ、うひ、おひ、えひ、うひ、

sara_p01_134
「ふん、なんだかこわいぜう……おれなんか、こわい

「.....う、おまえが、わ

ナラ
sara_p01_135
「うる、れる、れる……はあ、れれれ、れれ

する、れる、れろん……んはあ、れろれろ、おちん
ほ、ヒクヒクしてゐる……」「

ナリテ
sara_p01_137

sara_p01_140
「お口の中、おちんぽミルクでいっぱいにしてえ！
んちゅ、くちゅる、ずすじゅるゅりゅりゅ……」

תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ
תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ
תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ
תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ
תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ תְּנִזְנֵן־עַמְּךָ

תְּנִזְנֵן־סָרָה sara_p01_142

さあ、むやみに、ひらく、したあ
」(「アーヴィング」) sara_p01_143

はあ、んん
」

ナムルの母、アリス。アリスは、Sara_p01_144

「……元気の中には、いる
まだ出でる……おクチの中には、いる
やん!?」

sara_p01_145
「はあ、んん、れろれろ、んちゅ、れろん……」

sara no1 146

sara_p01_146
「んはあむ、ねろ、んちゅ……れろれろ、もーひ、む
ぐう…………んつ（ハクン）」

sara p01_147

ふへえ……ちゅぽん……（以降、肉棒から口を離して喋る）」

sara p01_148

「はあ……はあ……ほんとに、マンガみたいに、ビュ
ツビュ～～～って出るんだね。ビックリしちゃった

sara_p01_149
「ふう…………変な味い…………でも、んふふ、」これが、お兄

「ふう……身体がホカホカしてきちゃつた……。そろ

「……身体がホカホカしてきちゃった……。そろ
そろ出よっか。その前に軽くシャワー浴びなきや…」

「ほら、おクチに入り切らなかつたおちんぽミルク

サラ

サラ

sara_p01_153

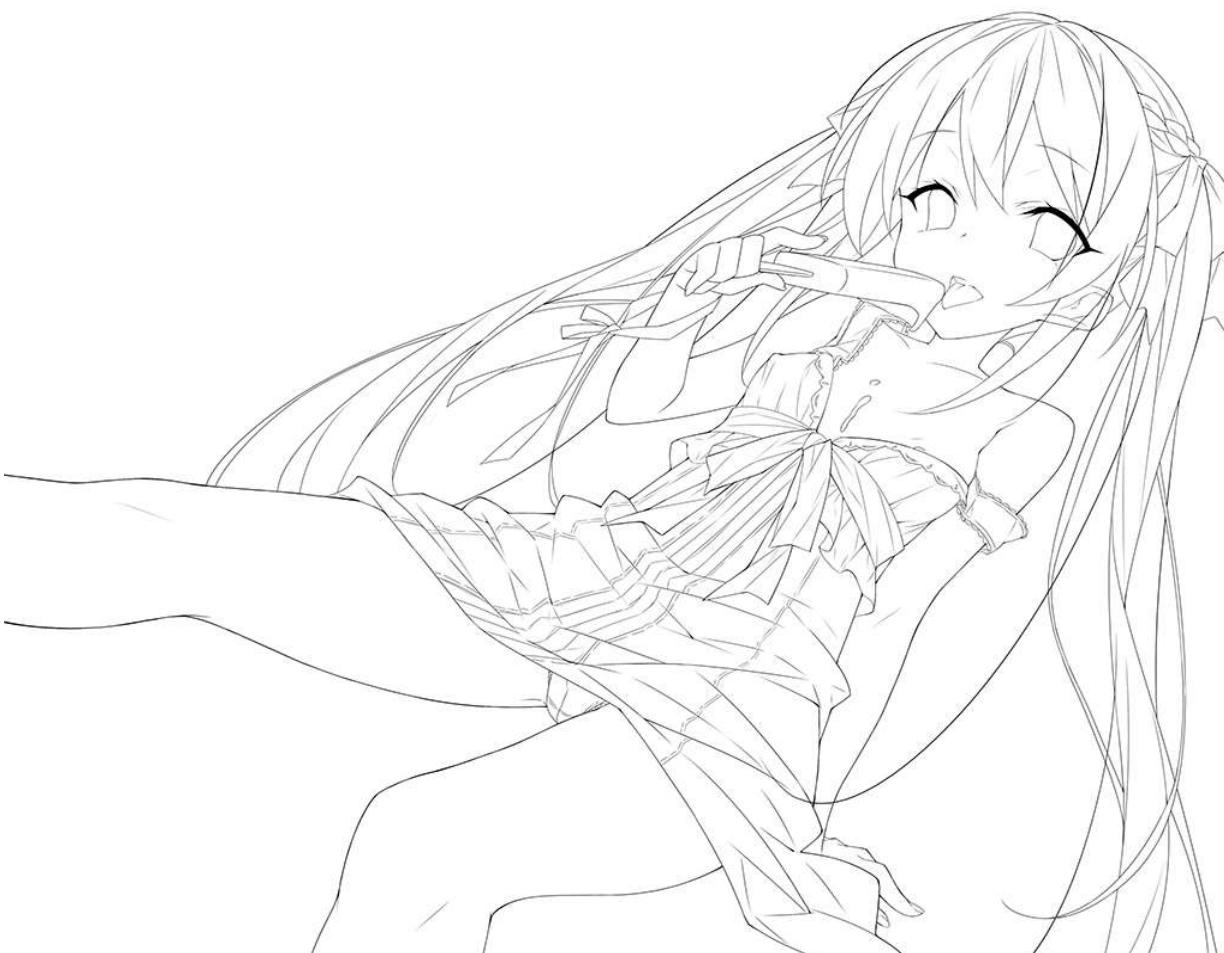
「うん、あっがと……うへ、少し疲れちゃった……」

サラ

sara_p01_154

「……ねえ、お兄ちゃん、麦茶でも飲んで、座敷で
ゆっくりロロロロ——」

p02 <



再会ご奉仕ックス
収録台本

キャラクター：サラ

ファイル：p02

■パート2 初めて

爽やかな風が吹き抜ける音

三
グラスの中で氷がぶつかる音

sara_p02_001

۹۱

sara_p02_002
「シヤ、シタヤルモトハシ、ハク

sara_p02_003
「んー…………ふわ、いい風が入ってる…………。もう少し
雨、すぐやんじやつたね」

sara_p02_004
「やあ……一緒に『ロロロロ』や、せ、う、お布団な
い、わの敷いてあるか、」

sara_p02_005

sara p02_006
「ふふ、ありがと、お兄ちゃん……んふふ、これで
やっと落ち着いてお話が出来るね……」

sara_d02_007
「ナニ、お兄ちやんの「ハ」、ホーハと待ってたんだ
ナニ? ナニ? ナニ? ナニ? ナニ? ナニ? ナニ?

sara_p02_008
「だから、今日せ、やの分、すーっと一緒にいちゃう

ね？

サラ

sara_p02_010
「ナニセー、ねこかやべー、ねむなっわ〜」

sara_p02_011
「ふあ、ねくわやべのハド、ヤハゼラ駅の人ひと感じ
……」

sara_p02_012
「ね、墨口物事ーい、だいじトコトコ。」

sara_p02_013
「わあ、じゃねーか。」

sara_p02_014
「運転、太く、ん、ふ、せ」

sara_p02_015
「お尻わやべのあひだかさが、ハーハゼンカムダント
ヒトヅメ、はあ……」

sara_p02_016
「ハ、胸が当たってる、ふ、ナリのねハゼ、
あもわいい？」

sara_p02_017
「ナリはね、きもち一も、胸でねくわやべの体温を
感じると、落ち着くの……」

sara_p02_018
「ん……んあ、はあ、あふ、ん、ふ、」

sara_p02_019
「なんだか、あ、あふ、せ、ああ、ああ、先つ
ちよが擦れて、気持ちこご……」

sara_p02_019
「なんだか、あ、あふ、せ、ああ、ああ、先つ
ちよが擦れて、気持ちこご……」

sara_p02_019
「なんだか、あ、あふ、せ、ああ、ああ、先つ
ちよが擦れて、気持ちこご……」

カラ

sara_p02_020
「お尻わやぐの、ハドリ一、ボリト黒ヒヂレ、
にぐにいト動かすと、ふおり、ここの……」

カラ

sara_p02_021
「うそ、乳首、ヌハヌハダル……お尻わやぐの側に
るから、かな……」

カラ

sara_p02_022
「世、」、「んなど固くなつて、服の下から挿む上がつ
てる……」

カラ

sara_p02_023
「わから、世、シノシノ……ハジル、先づねで
腕をシンシンストレキ……」

カラ

sara_p02_024
「はあ、ん、ん、あああ……ココココの擦れ
て、わわわー」

カラ

sara_p02_025
「んはあ、お尻わやぐの手のひらも、カラの太ももで
れきーとこしてじー……」

カラ

sara_p02_026
「エハード、ん、なんの、ん、はあ……決まりで
る、じゃなー……はあ、あふふ……」

カラ

sara_p02_027
「お尻わやぐの手、おまんじー、擦れで……ん、ん
くう、氣持ち、こいから、だよお……はあ、あ
はあ……」

カラ

sara_p02_028
「え、ハハハ……おこしかやぐの、ポクヒトした
ね……」、「」

サラ

sara_p02_029
「（エト耳打ち） エ・エ・ん・」…………お母さんは
聞つたんだよ……」

サラ

sara_p02_030
「ふふ。 お風呂で見たじゃあ カリのお婆のカリへ
……」

サラ

sara_p02_031
「ジルジルのおしゃれのトロ、わいわいやーご贅沢」

サラ

sara_p02_032
「アンコにな、なにか硬いもの、」——やつて、「さう
つかねど……」

サラ

sara_p02_033
「ん、ん、すいしん、『持ちこんだよお……』

サラ

sara_p02_034
「ん、だから……」のまゝ、お兄ちゃんの体温が、
くぐり、運じて腕……」

サラ

sara_p02_035
「ナニ?」わざとだけ、わざと離れて……」

サラ

sara_p02_036
「ん……あ、あ、あ、あ……お兄ちゃんの体温が、
おまんこ、染み込んでくる……せお、「ん……」

サラ

sara_p02_037
「んん……クンクン……んふふ、お風呂上がりなの
に、お兄ちゃんの匂いがする……」

サラ

sara_p02_038
「せへへ……おまんこが、溶けちゃって……」

サラ

sara_p02_039
「え? 濡れてる……。ほんとだ、パンツ、ぐつ
しづびしづになっちゃったあ」

サラ

sara_p02_040
「えぐく、ナリネ、お兄ちゃんの口元を奪はないと、
いつもおまんこ濡れちゃうの……」

サラ

sara_p02_041
「（耳打ち）濡れ田の中の、氣持ちじぶるね……クリ
ツトツスを触つてねど、もひ……すりこじとこなつ
かやつんだよ……お兄ちゃん」

サラ

sara_p02_042
「ふふ、おひじちゃんのパンチ。下着の上から、クリ
ツツス、指で探してる……。ふああ」

サラ

sara_p02_043
「せやん、もひ、触つちや駄田だひばあ……
あひ、あひ、駄田……おパンシ、ザリヤなど…
…」

sara_p02_044
「え？、濡れ田が今、どうなってるか説明しちゃれ
だひで？」

サラ

sara_p02_045
「うん、お兄ちゃんのヒッチな指が、ナリのハレハレ
濡れ田を……濡れ田を……」

sara_p02_046
「んん、はん……わ、濡れ田を！」じ開けて……ク、
クリトリスを……あひ、くわ……」

sara_p02_047
「はあ、せやつ……！」こいつ、くへ、
撫でてる……」

sara_p02_048
「そ、その触り方、すいぐ、うご……ああ、一本の
指が、尖った敏感なところを、ふわっとやわらかく撫
でてる……」

サラ

sara_p02_049
「再会ご奉仕ックス
収録台本

sara_p02_049
「お兄ちゃん、ニシト……せあ、んぐ、それ、サラ

が一瞬嫉妬しそう、触り方……」

sara_p02_050
「あ、ああ、駒田……血尔ですかね？」全然、ち、憲
「ひむね……せあ、ふわ……」

sara_p02_051

「んん、ん、お兄ちゃん、指、」「んじせわを！」
「ああ！」ヒド、お火を塗り広げるみたいに……」

sara_p02_052

「あい、あい、おまえ！」、びぐれやぐる、くぱあい
て、ひらぶねやう……ひやうん、あ、ふわ……」

sara_p02_053

「ね、お兄ちゃん、かよーしー……せあ、せあ……
ん、チコ、チコウ……れる、ねるねる……せあ、あ
はあ……」

sara_p02_054

「ちゅう、れるれり、かよー、かよー、ちゅう
ちゅう、ふはい」

sara_p02_055

「ああん、ホントのキス、えりあだよお……ふあ、
えりあだからあ」

sara_p02_056

「(耳打む) おまん！」、もひと濡れちゃひた……ふく
く……」

sara_p02_057

「ちゅ、んちゅ、ねるねる……せあ、はあ……ねえ、
お兄ちゃん、ナリ……もう大人のニシトがしたい
……」

サラ

sara_p02_058
「ナリのおまんこに、おめでせ……挿れちゃねりよお
わ……。」

サラ

sara_p02_059
「うん、カラならじょよ。だつて、ずーいぶね兄
ちやんとHシチする」と考へてたんだもん」

サラ

sara_p02_060
「お兄ちゃんのHシチなマンガ読んだーおまんこ
じゃれて、アイスでおクチの練習して……」

サラ

sara_p02_061
「うーーーと、お兄ちゃんを待つてたんだよ~」

サラ

sara_p02_062
「うーーー、うーーー、うーーー、お兄ちゃん、お兄ちゃん…
ああ、だいすき……」

サラ

sara_p02_063
「うーーー、しょーふあーーー、お兄ちゃん、そんない足
広げられて、ナリーランニシカヤー……」

サラ

sara_p02_064
「うれ、セージョーーー、だよねー、お兄ちゃんのお
顔見えて、安心すわ」

サラ

sara_p02_065
「おちんぽも、よく見えてるよ……」こんなに大きいの
が、ナリの中……。本物に入るのがかなー。」

サラ

sara_p02_066
「えぐく、やつぱつあひと、怖い……おまつこし
て、お兄ちゃん」

サラ

sara_p02_067
「お兄ちゃんこもれいとせれい、幸せ……デキドキし
て来ちやつた……怖いの、えいかじりがやつた」

「あれ? 嬉しい……ヒーヒー、」の田が来たんだ
sara_p02_068

なーつて……

「ふふ、わたくしゃが、おひこねかんばが、

たとへんのうじ

「おまんこ」を机で開いて、腰を少しづつ押すと、
Sara_p02_070

卷之二

「ああん、恥ずかしじょお……でも、上へした方が、
きっと痛くないんだよね？」

sara_p02_072
「うそ、ここがお兄さん……お兄さん、お兄の匂

「そのガチガチで、パンパンの、ヒツチなおちんぽ、
サラのちっちゃいキツキツおまんこに、いれてえ…」
…」

sara_p02_074

「……いたあ……お、い、ちや……んん」

「だ、いじょが……止めないで、」、このまま、い

「んつ、くう、ああああん！」

sara_p02_076
「はあ……はあ……あはあ……一番、太いと」らが、
割れ目の中に入っちゃった……」

sara_p02_077
「うん、だいじょぶ……。でも、わざわざこう、か
も」

sara_p02_078
「す」「」、れなーたー、したいなー。ふう、ふうん
んい、はあい……」

sara_p02_079
「お兄ちゃんの、入ってるの、わかるよ……。あつく
て、かたくて、頼もしくて」

sara_p02_080

「はい、かたち、わかる……。ふああ、想像し
たら、おまんこの、奥が、あつくなつて、はあ、ん
ふうん」

sara_p02_081

「ふえ? お兄ちゃん? んい、(トイーフキス)
ちゅい、ちゅい、れるるる、ちゅぱ……」

sara_p02_082

「じゅるる、ずわー、ちゅい……んせあ、キス、き
わわここ……」

sara_p02_083

「お兄ちゃん、やれーね……? んひひ……
わわい」

sara_p02_084

「うん、やわらか平氣、かな。……おちんぽ、ゆーつ
くづ奥まで、いただい? うん、ややしづ、ゆーつ
くづ……ね?」

sara_p02_085

「んい、あい……、ああ、ナリの、おまんこの中、お
ちんぽでぬき出せねー……くづ、あああ……
…」

サラ

sara_p02_086
「ふ！」ねい……あいつひ、かたおひのが、ずこむ
へい、てえ、すこししづつ入つてきる……ん
さあ、んん、はあん！」

サラ

sara_p02_087
「くくく…………」ねいはあ、はあ……嬉しくて…
……痛み、わい感じなくなつて、あはめん、れもわい
じー、かも」

サラ

sara_p02_088
「ふあい、今、ね、奥まで……くわ、圓こわやつ
た、はあ、はあ……あふ……」

サラ

sara_p02_089
「！」のまゝ、先いちよが、おまぐるの奥につけた
ちよこづかう、ちよこづかう……」

サラ

sara_p02_090
「こい國、」ねいねい、れわわわ——れわわわ——
よい、ねいこわやあん」

サラ

sara_p02_091
「ハハハ、抜かなくとも、」のまゝド、こご。ん
ふい、あはあい、ああん！」

サラ

sara_p02_092
「ね況かや、」れわわわ、あいたがく、れわわわ
くわ、すけ……」

サラ

sara_p02_093
「もひど、動きだご、」うそ、ナリは、だじょがんだ
よ、れで……」

カラ

sara_p02_094
「ふああ、おわんばが、カラのおまん」か、わわん
わわん、抜かれて、はあい」

サラ

sara_p02_095
「ね、お兄ちゃん、エリ。 エマ、エリ。」

サラ

sara_p02_096
「おまん！」ド、ちやーんと感じて、ああん、くれて
ね。 ん、んぐ、はあ、あふ……」

サラ

sara_p02_097
「ナリも、ん、ん、だんだん舐めよくなつて、れ
た、よ。 ネ、だかん、」のまま……あ
ん！」

サラ

sara_p02_098
「ハグハ… れやハ… せ、ん、ん、おまえ！」
の奥で、おちんぽ感じぬ……」

サラ

sara_p02_099
「ナリの、大事なヒカラ、コラコラがつたつてる…
…」

サラ

sara_p02_100
「いじめ、お兄ちゃん、舐めじ…、もひよ、
もひと粗暴にパンパンしてても、いじよ、ああ、
ああああん！」

サラ

sara_p02_101
「ナリ、もひよ、せぐ、はあん、うん、うん、す
いじ、いじよ……んああ、はふ！」

サラ

sara_p02_102
「はあ、ああ……お兄ちゃんの体重が、おくわの裏
で感じぢやう……ひ、はらい……」

サラ

sara_p02_103
「もひよ、ナリのおまんこ、バコバコい、せじつ
てふ」

サラ

sara_p02_104
「あんっ、力強いお兄ちゃん、さうっ、かわ、あつ
あつ、すきこ、んあああ！」

サラ

sara_p02_105
「ああ、おおお……あんんっ、い、おちんぽ、ん
せおひ、れわわごじよおひ、ん、せひこ、ん、
ふりふり」

サラ

sara_p02_106
「ね、あんっ、お布団、セーツド焼した、黒田だよ…
……」

サラ

sara_p02_107
「んうん、カウの、かわせやご母ド、玉レーハ…
あんっ」

サラ

sara_p02_108
「うる、こごめ……お兄ちゃんのセーツな、カラ、
ズ！」ドギット歯止めかなや！」

サラ

sara_p02_109
「あんっ、あああんっ、せおひ、ふあああひ、
えり、えり、ああんっ、ひああああ！」

サラ

sara_p02_110
「ふふ、今ね、カラ……ヒー芷ご城井ひなひ
ねの、だから」

サラ

sara_p02_111
「お兄ちゃんの出しだしのアシタシヤー、おまへ」
の奥で感じたの……そり」

サラ

sara_p02_112
「ふああ、おまへ」、じわあひ、れわわごーのが、
おなかのせ、せおひ、せおひ、あひね、ん、

さ
ラ
「ね況ややくわ、城壁かごふ。えく……ふらな、せ

由……」

sara_p02_113

「ね况ややくわ、城壁かごふ。えく……ふらな、せ

由……」

sara_p02_114

「けのねま、金輪、けのねま、びをひをある

まで、ふああん、おちんせし入れし、せああ

あ、すせりて」

sara_p02_115

「けのねま、金輪、けのねま、びをひをある

まで、ふああん、おちんせし入れし、せああ

あ、すせりて」

さ
ラ

「あ、ああ、やあ、ね况ややくのむんせ、ベーハト…

…」

sara_p02_116

「ねまん」のかぐ、ハコハコト、……あひ、そ、ん

ん、ひやハハハ……」

さ
ラ

sara_p02_117

「うああ、せあ、せああ……ねまんせ、ハクハクし

し……、ね、丑アハハ……」

さ
ラ

sara_p02_118

「こごも、ね况ややく……」のねま、はあ、はあ

……」

さ
ラ

sara_p02_119

「あ……。せやハハ、根元がふく……あ、

あああ、くねう……」

さ
ラ

sara_p02_120

「ああん、ふあい、ふあみ、ふあい、ねまん

が、欲しがり、あい、あい」

カラ

sara_p02_122
「ひやあん、ねねえ」、色々と色々としゃべり、おにじわやく、それからこのへ、それからここんだがねい。」

カラ

カラ

sara_p02_123
「んん、わいわ、丑かめドバボバボバ、んせあ
あ、わ」かうじご、ここのねい、ん、あつ
あつ、あああん」

カラ

sara_p02_124
「丑」ドバ、お尻わやん、カラの甘い、んぐのい
セー、ひなうい、ひなひよーハシドバ、
さあ、さあ……あああああああああん」

精

カラ

sara_p02_125
「せー……おはあああ……お腹の奥で、おなかの声が爆
れたり、またじ……」

カラ

sara_p02_126
「せあ、ふい……ん、ん、おお、せあああん…

…」

カラ

sara_p02_127
「カラ、イシトメ……あい、ん、ダメヒ、初めてな
の！」……」

カラ

sara_p02_128
「寝中丑しなの！」……「んな」、眠持むこいだなん
て……わい、おはああ……」

カラ

sara_p02_129
「お尻わやん、こいせご感じトイベリル……」

カラ

sara_p02_130
「ふ、わの顔……おお、ヤギ、睨むだらけ、おま

sara_p02_131
「せー…………おせぬ、おだい、田んぬ……」

sara_p02_132
「ふ、ふあ、おぐが、ヤーノド、ふぐ、エドぬ……」

カラ

sara_p02_133
「ぬ、ぬ、カイのぬくわのト、ぬまのヌヌシ パニード
ル……」

カラ

sara_p02_134
「！」ね、お呪わやんの精液だよ……せあ、「う、
ふ、す！」こねえ……」

カラ

sara_p02_135
「うー…………ふー、疲れわやつたあ……」のまほ、
ぬまのどださ「ロロロロ」のか……」

カラ

sara_p02_136
「（一ノノ）ふ。小声で）誰かが煙ひでても、「れな
りバレンナ……かな？」

カラ

sara_p02_137
「（小瓶）ま、バレだらバレたで、カラせ全然……
「ふふふ……」

カラ

sara_p02_138
「（ノ・）「ひひひ、ただの独り皿。お呪わやんにお休み
の挨拶、なんの皿おいか考えてただけ……」

カラ

sara_p02_139
「うふ、おやすみ、お呪わやん……盤！」せん食べた
「、また口ナシナシよいだ」

カラ

sara_p02_140
「（ノ、）その後、もハ一度お風呂入つて……お風呂でハ
ツチして……着替えて、トレーニ服で、トレーニみなが
「、また口ナシナシして……」

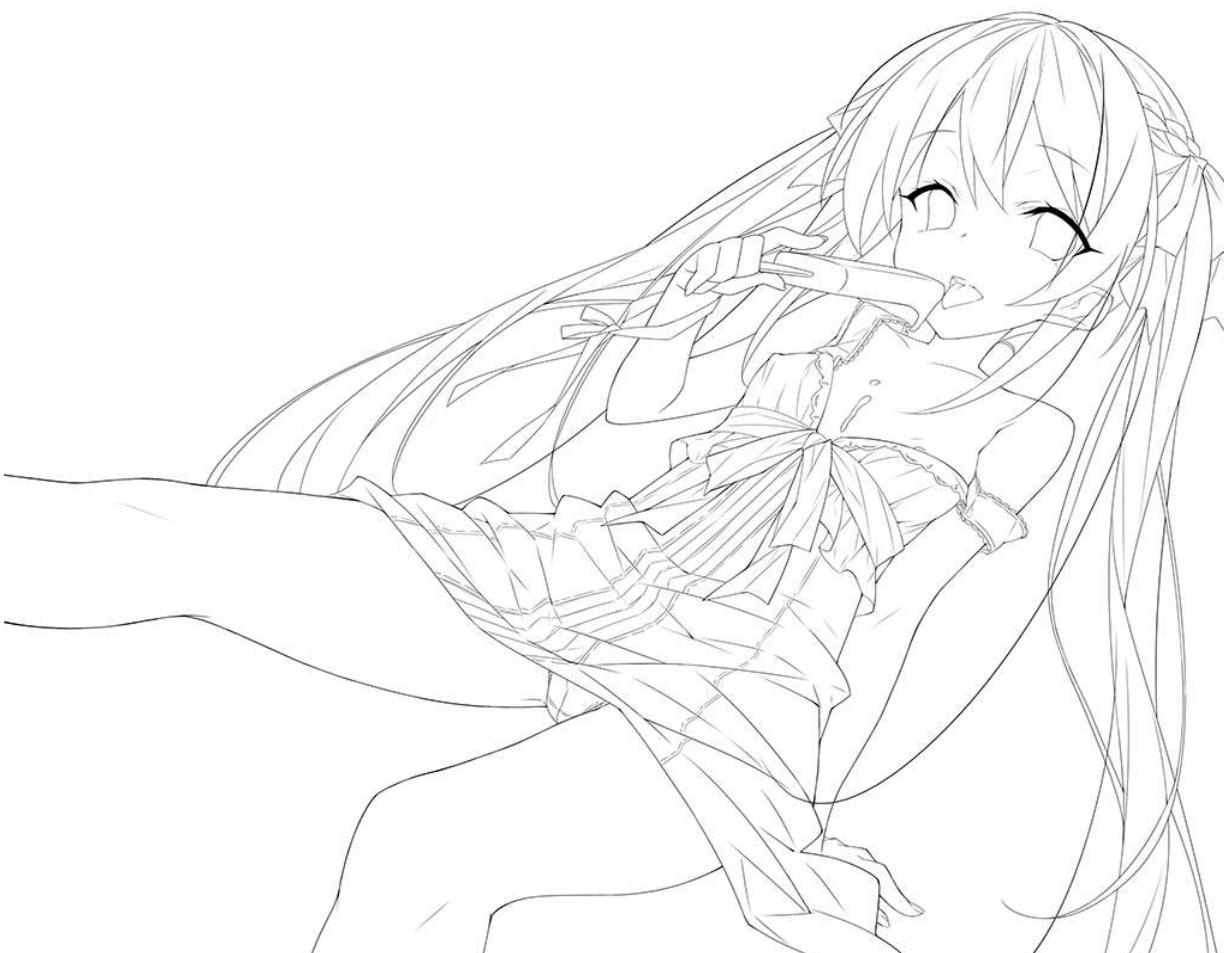
カラ

サラ

sara_p02_141

【それからね、ベッドの中でもたはツチして……
ふわああ……駄田え、サリ……クタクタだよお……
ふわあああ……】

p03 <



再会ご奉仕ックス
収録台本

キャラクター：サラ

ファイル：p03

■パート3：それから

SE や〃の豊かさ 数回

sara_p03_001
「ねせー、お兄ちゃん。今日は何して遊びつか?」

sara_p03_002
「床ひじかかー一週間……こんな遊びしたかい、
今日は変わったことしたいねー」

sara_p03_003
「へへ、ユニーク色々遊んだよね——」

sara_p03_004
「せふ、」ないだの思ひ出したり、ナリ……おまん
「が、おもひつけられ」

sara_p03_005
「ふふ。昨日、頼んだの、わい晒したの。」

sara_p03_006
「わあ、嬉しい! サラがお願いしたおもひやだ
よね?」

SE ハーテー音

sara_p03_007
「れや、ホーリー……ホーリー動いて、パンパン
ペタペタ……」

sara_p03_008
「せああん、」ね、おもそいに入れちゃつたり、サ
「、うつむいたやつ……」

sara_p03_009
「想像したらわ、あああん、我慢できなか……お兄
ちやん、して、すげして」

ナラル... ルーラー、アーティスト、セイフティ...
sara_p03_010

۷۰

ナリ
「ハハハ、おこなわやべ、ナリのねだつおぐ匂い」
Sarabon01

くれるから、すまー！」

「ねえ、今更何をやつてんの……。」
「ううん、もう戻れいやがやつだよ！」

sara_p03_012
「ねえ、もう戻れちゃうかいいね……。でもあなたが
一歩がじゃって戻れちゃう」

「えぐく、伊田ね兄ちゃんのねねこはでか丸回れれて
るから、ナリ、すぐ戻りやにならわやいの……」

sara_p03_013
「ぐくく、毎日お兄ちゃんのおかんほどかを回せよ
るから、ナラ、おじえつかになつねやうの……」

「ふあ？」
お兄ちやんにむけに、おしゃり笑わせぱい
いの？」

sara_p03_014
「ふむ。」お兄ちゃんにむけて、おしゃべりをさせば
この。」

「うー、カーリーのおしゃべり、かわいいー。」
Sara_pus_015

「うー、えへへ、ナリのお嬢、かわいい？」

「あやん！」おつかれ、急にナントかされたら、ひらくわかるよな……」

sara_p03_016
「ちやんち、おつか、急にナーナーされたら、ひいへ
りすねね……」

「おえへ、やせな」鬱一郎。『』。『』。『』。
「おえへ」からもひと、お六代ややく……」

sara_p03_017
「あん、そんなに優しく……。」ただけで、「あ、
ねえ」からかわいい、おだやかやう……」

תְּבִרְכָּה שֶׁל סָרָה p03_019

sara_p03_019
「んうとね、んーうふ……あへ、あへ、ああああ…
…」

サラ

サラ

^{ra_p03_021}
「あへ、んへ、入へしゆ……おぐへ、んぐへ、あへ、
あああ……」

サラ

sara_p03_022
「ヤ、駄目、ねじりかねるやうだ……おめでた、おめでた、取りれぢや」……

サラ

sara_p03_023
「あー、あー、あああ……はあ、はあ……入っちゃう
た……」

サラ

sara_p03_026
「はあ……ふう、んあ、ああんっ、」れ、いーかも、
ふああ、あひあひ、あくう」

サラ

sara.p03_027
「あ……、スイッチ、入れるの……？」「くくく、ナラ、ビーなつちやうのかなあ？」「…………」「んぞれ、んぞれ」

サラ

sara_p03_029
「ねぐが「アココ」で……「ぐい、 埋せぬ… せああ
ん…」」

sara_p03_030

「ふぐ「ハ、 バイ「のれわいぬよが、 グーリグー」
ト、 「ふぬ、 おおく」」

sara_p03_031

「「ハ」のねまくじ、 キウカクスルス、 さう、 」
すうじゆる……」

sara_p03_032

「おおい、 ねい、 おおおん、 せぬ、 ひかわ、 そ
うい、 おおい、 んふ「ハ、 ふぬぬぬぬ」」

sara_p03_033

「……ねぐ、 お呪わやく……「ハ」、 カウなこやお…
…。 おいせこもチコシチコシ」」

sara_p03_034

「ん「ハ、 駄菴、 おじしら、 「あい、 田だなわる
の、 だぬく、 おおん、 かだくなつて、 わかやうか
、 」」

sara_p03_035

「ねぐ、 ひやう、 そんなに強く吸ひだり、 ミハク出
かやうねお……せあ、 せあ……おおおえ……」

sara_p03_036

「せあん、 ねいせこ、 かき一いつねれ、 そんく、
おまえ」」、 かき回せたれ、 おおおい、 おおん、 す
「」」、 か！」」

sara_p03_037

「ああああ、 駄菴「ハ」、 埋せぬじご、 埋せぬじご、
「」」」」

さ
ラ
「でも、んひ、んん、やつせな、お兄ちゃんがいりよお…
んせがいり……」

さ
ラ
「お兄ちゃんや、お兄ちゃんのおちゃんせがいりよお…
…」

さ
ラ
「おつべトヒクヒクして、たゞまじごおわんせがい
じの……」

SE サータ一輪座

さ
ラ
「んはあ、はあ……気持ちよかっただ……。でも、イク
んだつたら、やつせな……」

さ
ラ
「わ、お兄ちゃんのなまかんせがいり……な」

さ
ラ
「あー、おちんせ、ぱくぱくした。嬉しいんだ、
えくえく」

さ
ラ
「じゅーぬ……、ぬじーぬ」

さ
ラ
「ぐくぐく、お兄ちゃんの上に座り始めた」

さ
ラ
「わ、いなかい、お兄ちゃんは匂がじぬい、
抱いだくやうねぬいだわる、すきー」

さ
ラ
「それにして、えくえく、分かった? わらのぐちよぐ
ちよのねまくじ、お兄ちゃんのかたーのが、あ
たついる」

サラ

sara_p03_048
「ねえ、お兄ちゃん……オペレーター（オペ）
ちゅう、かまーい、かる、かる」

サラ

sara_p03_049
「んはあい、えいわなキス、モモかじ——。シャー
あ、次は——」

サラ

sara_p03_050
「（耳打む）お・ち・ん・ぽ、いれて……？」

サラ

sara_p03_051
「ん……ん、はあ……あはあ、ズヌヌウで入つて
ぐる、」の感じ……大好き」

サラ

sara_p03_052
「ふわああ……やいせり、生ちんぽがこう……お兄
わやんのかんぽ、最幅だよお……く、く……」

サラ

sara_p03_053
「ぐくく、お兄わやんせえい、ナリの生めぐ、最
幅く」

サラ

sara_p03_054
「ん——。せんとかなあ？ あぬん、せんとみたい
だねい」

sara_p03_055
「！」のかたくり、ふねい、『シシ』のい、おねぐぼ
どい、ああい、ナリをもいと、犯して……」

サラ

sara_p03_056
「ぬぬい、ふじい、お兄ちやん、もいと、生ちんぽで
生まん！」、じゅぼじゅぱかき湿せいで、はあい、
あああい」

サラ

sara_p03_057
「ぬ、ぬぬ……氣持む、ふじい、ふじい、やいぱ、
最幅……わいぶ、氣持ちよくして……」

サラ

sara_p03_058
「はあ、はあ……ふああひ~ やあ、や~」、わがう
穴、おしゃだよお……んぐり、指だぬ~」

サラ

sara_p03_059
「あいあい、おまえに入つてゐ、の~、ひ~、
おしゃのあなた、なめちやだぬ~」

サラ

sara_p03_060
「ふ~。ほんとにだぬ~、やあね~、やあかや~
の~」

サラ

sara_p03_061
「むー、お兄わやん、意地悪だ~ね……。カラリヤで
な事~わせな~と~、もー……」

サラ

sara_p03_062
「(耳打た) ほそとせ、ア~イ~、こごめ……カラ、
おしゃマン ハド感じぬ~スケベ変態ひ子になつ
わやつた……」

サラ

sara_p03_063
「はああひ、指、入つてきだあ……。へああ、おかし
くなつわや~わ~……」

サラ

sara_p03_064
「んああああひ、浅じる~、ほじほじやれて、おま
ん~は深じる~ハベハベハベハベ~、はああ~、い
い~、い~よね~」

サラ

sara_p03_065
「ふあひ、な~、ひれ、アナルビーズ~、ふわあ、
えつぐい形……」

サラ

sara_p03_066
「~れ、お尻にじれる、の~、カラ、お尻をいた
すりわれながら、おまえ~すかんずんぞれちやう
の~」

サラ

sara_p03_067
「うん、いいよ……おまんこでねわくせ感じながら、
お尻じじりれるの、大好き……」

サラ

sara_p03_068
「ん……んんあ、はあ、お尻の穴、広がってる……
あー、あああ……はあ、入ってる」

サラ

sara_p03_069
「んん、はあ……あああ、い、じくともじくとも、つ
ながった玉が、ナリのおしゃマハニ、イジ開けて…
…」

サラ

sara_p03_070
「一回ずつ、进出口の出口、入ってました……」

サラ

sara_p03_071
「ああん、おまんこと、お尻の穴の中で擦れあつて…
…ぐり、ふり……はあ、あせああ……気持ち、いい
…」

サラ

sara_p03_072
「んふう、さう……、くぐり、ふああ……、ピーズ、
ゼンジ、はじかねり、た……、おしゃ、わう、
満員だよお」

サラ

sara_p03_073
「はあ、ふう……、えええ、う、嘘……お尻の穴の、
弓の張り出すの……、そんなの駄目だ……」

サラ

sara_p03_074
「あ、ああ、あはあああ……、ううう、お尻の穴から
ポロポロ生まれて……、うへへー、はあ……お、お尻
で、イヤ、やう……」

サラ

sara_p03_075
「ふぐうひ、あうう……や、だい 駄田、おねえさや、
出し入れ、しないでえ……あひ、あひ、おねえ…
…」

…

サラ

sara_p03_076
「ちんせーだけ、じんなに飯持わふふのこ…
はあ、ふう……んぐ」

…

サラ

sara_p03_077
「あああん、お尻まで飯持わふくなつだ、サラ、変
になつたやう……」

…

サラ

sara_p03_078
「おまん！」とねづかと、かうせきうせき、
すうせきうせき、かうせき、ふああ、かうじ、すうじ
よお……」

…

サラ

sara_p03_079
「お尻わやんむ、いりふんしてゐ。 もわかじい。
えくく、サラのからだ、もわかじい。 あんつ、
わいび、わいびにまつて」

…

サラ

sara_p03_080
「ふうえ？ ながらし？ やう、いぬえ……今、おま
ん！」お尻ちゃんの特濃セーしなんて泣がれたら、
はあ、はあ、サラ、モヒ……」

…

サラ

sara_p03_081
「だめえ……ひご… ぐう… あひ、あひ、あ
あああああん……？ イツ… グツ… うう、
んつ、んヒイイイイイ… うう… う…」

…

サラ

射精

sara_p03_082
「はー……はー……あああん、イツ、うる……イク

…

sara_p03_083
「ふふ、駿田、わい、丑れなごどく……さあ、
さあ……さくべ……」

sara_p03_084
「あせせああ……お尻の穴、おまえ……一縷に氣
持ひもく、なつかやたあ……」

sara_p03_085
「せー……せー……病みつわい、なつかやごどく…
…」

sara_p03_086
「ふわい、精液、まだ玉ぐる……ぐり、あいこ
…」

sara_p03_087
「ねめえのせで、あいこのがビクンバク暴れてる
……」

sara_p03_088
「さあ、ふう……ふう、またイシかやこういへ
……」

以降は疲れてもぐらぬ感)

sara_p03_089
「せふ、ね呪わやん……かいたよね……」

sara_p03_090
「わいわい、お呪わやつのじやなれや、ダメになつ
かやつた……。でも、また、回りに歸つわやうと
だよね……」

sara_p03_091
「ナリ、わい離れたくなつ……あいと一緒にこつた
よお……」

sara_p03_092
「ふふ、わいもいひに歸りなつて、まこと。
ほんとうに。」

サラ

sara_p03_093
「ナニヤアー、ハルー、ハリ、一緒に陋いへる。 サラ
のハル、ホーハと愛がいとくわる。」

サラ

sara_p03_094
「ハク、ハク、ハク……、嬪姫……。 懸念だ……」

サラ

sara_p03_095
「お呪わやん、ナリ、コモト一ヒトヤ、しあわせえ…
…わをい（ハリペリサベ）」

サラ

sara_p03_096
「ねい、ジヤキモハハハハハハ……。」

サラ

sara_p03_097
「ナリの大重要なハリハリハリ、コハゼハゼスン
でハ……」

サラ

sara_p03_098
「おクチも、おしの穴も……、セーンふ、お呪わやん
のハロハロサハダハターメンド、コハゼハゼス…
…」

サラ

sara_p03_099
「（ハリ）お呪わやん……、ハーヒ好也、だよ。 サラ
のおまえ、もハお呪わやんのだからね……。 う
「ハハハ……」

終了